



# 連合愛知

か わ ら 版

●発行所●

日本労働組合総連合会愛知県連合会  
(連合愛知)  
名古屋市熱田区金山町1丁目14-18  
ワークライフプラザれある4F 〒456-0002  
TEL.052(684)0005(代表)  
FAX.052(684)0010  
ホームページ <http://www.rengo-aichi.or.jp>

2010年5月 第214号

第81回  
愛知県中央  
メーデー

## 実現しよう「労働を 中心とする福祉型社会」



あいさつに立つ神野会長

連合愛知は4月24日、澄み切った青空のもと久屋大通公園 久屋広場において、「実現しよう『労働を中心とする福祉型社会』」をスローガンに「第81回愛知県中央メーデー」を開催した。

式典には、神野会長をはじめ連合愛知三役、愛知県労働局長などの来賓や各級議員、さらには構成組織・単組組合員など、およそ3,000名が結集した。

冒頭、あいさつに立った神野会長は、メーデーの起源を紹介したあと、現在の日本を取り巻く厳しい経済状況にふれ、「若者が意欲をもち、自らの目的達成のための就職ができる仕組みを作っていないといけない。経済力を上げるとともに、社会のシステムを変える努



課題提起を行う各代表者

力をしていこう」と、力強く訴えた。その後、来賓紹介・あいさつに続いて、参議院選挙で立候補を予定している連合愛知組織推薦の斉藤よしとか(連合愛知元副会長)・やすいみさこ(シンクタンク研究員)両氏もあいさつを行った。

集会では、正規労働者・非正規労働関係者・新卒関係者のそれぞれの立場から3人が現状報告と課題提起を行い、それを受け、県及び国行政の立場から愛知県産業労働部志治局長や近藤昭一衆議院議員、神野会長らが、課題解決に向けた取り組みを述べた。最後に、綱木副会長が「第81回愛知県中央メーデー集会アピール(案)」を力強く読みあげ、参加者の総意で採択した。



参加者で埋め尽くされたメーデー会場

# 第81回 愛知県中央 メーデー

## 第81回愛知県中央メーデー集会アピール

我々は、本日ここに第81回愛知県中央メーデーを開催した。

メーデーは、1886年、アメリカで長時間労働を強いられてきた労働者たちが、「1日の労働を8時間に!」と団結し、立ち上がったことが起源である。その後、働く者が求めた「働く者のための権利獲得」の行動が広く認められ、全世界に波及していった。

連合は、ここ数年「STOP THE 格差社会」のスローガンを掲げ、行き過ぎた格差を是正し、働くことを通じて誰もが安心して暮らすことができる社会の実現に取り組んできた。しかし、働く者を取り巻く環境は、一昨年から世界的な経済危機により一層厳しさを増している。

長引く不況は、非正規労働者のみならず正社員の雇用まで脅かしている。完全失業率は4%台で推移し、失業した労働者の多くは新たな職に就くことが出来ず、雇用保険や生活保護などに頼りながら貧困にあえいでいる。また、日本の将来を担う若い世代は、「就職氷河期の再来」といわれる就職難に直面している。卒業しても社会人としての第一歩を踏み出せないことが来年以降も想定され、明るい未来を展望できずにいる。

このように日本は当たり前働くことが難しい社会になって

しまった。

昨年の総選挙で我々が支援する民主党が勝利し政権交代が実現し、新しい政治体制のもとで、新しい社会づくりがスタートした。民主党政権には、国民の暮らしのための政策実現を強く期待するが、一方で働く者自らの力で日本の社会をつくりかえる努力を怠ってはならない。

それは、効率と競争最優先の考え方を改め、働くことに最も重要な価値をおく社会を構築することである。そして、安定した雇用システムと安心できる社会保障の仕組みを再構築し、内需と外需による力強い経済成長を成し遂げ、温もりのある思いやりの社会を実現していくことである。

こうした考えのもと、私たち労働組合が先頭に立ち、健全な社会正義の担い手として、働く仲間・構成組織が一丸となって、すべての働く者の生活と労働の尊厳を守るため、「労働を中心とする福祉型社会」の実現に向けた取り組みを強力に推し進めていく!

以上、ここに宣言する。

2010年4月24日

第81回愛知県中央メーデー

## メーデーイベントや街頭宣伝行動を実施

### メーデーイベント

連合愛知はメーデー式典と同日、同会場においてメーデーイベントを開催した。連合愛知や安全衛生センターのコーナーの他、名古屋NGOセンター、愛知県共同募金会からの各種ブースが



やってみよう!体力測定

出店された。とりわけ安全衛生センターのコーナーでは、「やってみよう!体力測定」として、体脂肪率・血圧・腹囲測定や柔軟性・脚力判定も行われ、多くの方で賑わった。「健康と禁煙」相談コーナーでは、医師による相談も行われた。また、地産地消コーナーでは、愛知県内で収穫される果物や野菜、魚介類などの無料配布も行われた。



名古屋NGOセンター等の出店ブース

### 街頭宣伝行動

栄周辺においては街頭宣伝行動を行った。連合愛知神野会長をはじめ、国会議員、斉藤よしとか・やすいみさこ両氏が、勤労者や生活者の視点に立った政策に取り組み、格差是正を実現していくことの重要性を熱く語った。また、街頭ではメーデー運営委員を中心にチラシやティッシュを配布し、「労働を中心とする福祉型社会の実現」を呼びかけた。



斉藤よしとか氏



やすいみさこ氏

## 『働く』ことを通じて、誰もが安心して暮らすことができる社会を実現しよう!

連合は、ここ数年「STOP!THE格差社会」をスローガンに掲げ、格差を是正し「働く」ことを通じて誰もが安心して暮らすことができる社会の実現に取り組んできた。しかし、働く者の取り巻く環境は、指標の上では改善傾向にあるものの、働く者の生活実感に改善の兆しが見られず、「働く」こと、働くことを通じた生活が脅かされている。

今こそ働く者の力で、すべての人に働く機会・公正な労働条件、

職業能力開発の機会が保障され、さらには仕事の家庭生活、子育てが両立でき、必要に応じて社会保障が受けられるセーフティネットが整備された社会、将来に希望の持てる国につくりかえていかなければならない。

連合は、『安定した雇用の確保と新規雇用の創出』『安心できる社会保障』『内需を拡大するための経済対策』の実現に向けた取り組みを強化している。

第22回 参議院議員選挙  
比例区 推薦候補者



やなぎさわ みつよし  
**柳沢光美**  
UIゼンセン同盟(現・61歳)



えさき たかし  
**江崎 孝**  
自治労(新・53歳)



なおしま まさゆき  
**直嶋正行**  
自動車総連(現・64歳)



かとう としゆき  
**加藤敏幸**  
電機連合(現・60歳)



つだ やたろう  
**津田弥太郎**  
JAM(現・57歳)



なたにや まさよし  
**那谷屋正義**  
日教組(現・52歳)



いしばし みちひろ  
**石橋通宏**  
情報労連(新・44歳)



なんば しょうじ  
**難波奨二**  
JP労組(新・50歳)



こばやし まさお  
**小林正夫**  
電力総連(現・62歳)



いたくら かずゆき  
**板倉一幸**  
私鉄総連(新・58歳)



たしろ かおる  
**田城 郁**  
JR総連(新・50歳)



(7月末満年齢)



第22回参議院議員選挙 愛知選挙区

# 連合愛知推薦候補者



## 斉藤よしたか

47歳

民主党新人(構成組織名:愛知県教員組合)

### プロフィール

1963年 名古屋市生まれ  
 1985年 愛知教育大学教育学部を卒業  
 1985年 名古屋市立村雲小学校 教諭  
 1991年 名古屋市立稲永小学校 教諭  
 2000年 愛知県教員組合 執行委員  
 2003年 愛知県教員組合 執行副委員長  
 2005年 名古屋市立神明小学校 教諭  
 2007年 愛知県教員組合 執行委員長  
 連合愛知副会長  
 連合愛知政策委員会委員長  
 2009年 名古屋市教育センター指導主事  
 現在は、民主党愛知県参議院選挙区第5総支部長  
 家族は、妻と長女・次女&愛犬ハル

## 子どもの元気 日本の明日

### 斉藤よしたかのめざす政治と政策

#### 1 教育の充実と子育て支援

子どもたちは未来そのものです。教育の充実を国の中心的課題としていくとともに、個人の人権が真に尊重される平和な社会の実現をめざします。

また、出産一時金の増額、保育サービスの充実、奨学金制度の充実などにより、安心して子育てをすることができる支援策の拡充をめざします。

#### 2 雇用の安定と創出

「ものづくり愛知」を積極的に支援し、景気回復・雇用の創出と安定により、だれもが将来への希望や働きがいをもって仕事ができる社会をめざします。

また、環境に配慮した商品の購入を積極的に助成することや、環境破壊型公共事業からの脱却によって、持続可能な循環型社会の実現をめざします。

#### 3 年金・医療・介護の不安のない社会

安定した年金制度の確立、医師・看護師等医療従事者の人数確保により、年金・医療・介護の不安をなくし、将来に向けて安心して暮らせる社会をめざします。

# 連合愛知推薦候補者



## やすいみさこ

44歳  
民主党新人

### プロフィール

- 【学歴】  
1965年 東京都生まれ  
1984年 上智大学法学部法律学科 入学  
1987年 ニューヨーク大学ジャーナリズム学部 編入  
1989年 ニューヨーク大学ジャーナリズム学部 卒業  
2009年 一橋大学国際・公共政策大学院 入学(在学中)
- 【職歴】  
1990年 マッキンゼー・アンド・カンパニー / ビジネス・アナリスト  
1994年 (株)ミスミ 新規事業担当  
1996年 コンサルタントとして独立  
岩手県「食と農の研究会」委員  
大阪市役所市政改革本部調査員  
(財)日本都市センター  
「地域ブランド戦略研究会」委員等  
2007年 東京財団政策研究部 / 研究員兼政策プロデューサー  
2009年 大阪府特別参与  
現在は、民主党愛知県参議院選挙区第6総支部長

## 子ども達が安心して 大人になれる社会を実現するために

### やすいみさこのめざす政治と政策

#### 消費者目線で「食と農」を考える

将来を担う子ども達の穏やかな成長のためにも「食」はとても大切です。食べ物は農業や漁業といった営みから生まれる自然の恵みです。これまで分断されがちだった「食と農(消費と生産)」を一体化して考えることは、食育を促すと同時に食の安心・安全につながります。また、食は地域に根差した文化的な価値を有し、地域産業や観光など周辺産業を活性化させる起爆剤ともなります。これからは消費者の視点から農業政策、食料政策を考えることが必要です。

#### クリーンで高付加価値な「ものづくり」

「ものづくり日本」の世界における地位が揺らいでいます。なかでも愛知はものづくりの中心であり、今後は環境に配慮した、より付加価値の高い「ものづくり」へとシフトしていく必要があります。これまでに蓄積した技術と知見をさらに発展させるために、研究開発及び高等教育への投資を強力に進めねばなりません。選択と集中、産官学の連携により、優秀な人材を育成し、地域の力を高めることを狙います。

#### 地域の力を引出す「地域主権」

生活に関することは住民に一番近い地域が決める。そのために必要な権限や財源は中央から地域に移していく。これが「地域主権」という考え方です。国の根幹に関わること、たとえば外交や安全保障・為替などは国が主体として進めていくべき事柄です。それ以外は地域に任せ、地域同士が切磋琢磨して、競い合うべきなのです。日本が本当の意味で国際競争力を増し、国民が真に豊かな生活を送るためには、地域の力をつけていくこと、これ以外に選択肢はありません。



## 第22回 参议院議員選挙

# 連合東海ブロック 相互推薦候補者



やました やすお  
**山下八洲夫**  
岐阜県選挙区[現2期]



こみやま よしはる  
**小見山幸治**  
岐阜県選挙区[新人]



しば ひろかず  
**芝 博一**  
三重県選挙区[現1期]



ふじもと ゆうじ  
**藤本祐司**  
静岡県選挙区[現1期]



きたざわ としみ  
**北沢俊美**  
長野県選挙区[現3期]



たかしま ようこ  
**高島陽子**  
長野県選挙区[新人]

## 「期日前投票」を活用しよう!

投票日に投票に行けない方は前もって投票しましょう。手続きはかんたんです。

# 毎日が投票日

出張などの仕事や冠婚葬祭などの予定のある方  
旅行などの予定が入っている方  
入院や出産などでその日に投票に行けない方

投票できる期間: 公示日の翌日から投票日前日まで

投票できる時間: 8:30~20:00

投票場所 : 選挙人名簿に記録されている  
市区町村の「期日前投票所」

◆詳しくは市区町村の選挙管理委員会に  
確認してください

投票期間

参议院選挙  
投票日

日	月	火	水	木	金	土
公示日 (予定)						

(予定)

期日前投票ができる日



# 世界10カ国・21団体の教育環境づくりを支援

## 書き損じはがき25,495枚を贈呈

連合愛知は、世界の読み書きができない方が学ぶための教育環境づくりを支援する目的で、「書き損じはがきキャンペーン」に取り組んでいる。この書き損じはがきを有効活用する“世界寺子屋運動”は、国連が1990年を「世界識字年」と制定したことをきっかけに(社)日本ユネスコ協会連盟が始めた運動で、「すべての人々に教育を」をスローガンにしている。

連合愛知は4月27日、各構成組織によって集約された25,495枚(約114万円相当)の書き損じはがきや切手・テレホンカードなどを「世界寺子屋運動名古屋実行委員会」に寄贈した。今回寄贈したはがき・切手・テレホンカードなどは、「世界寺子屋運動名古屋実行委員会」によって換金・資金化されたあと、NPO団体を通して教育環境整備のための支援金として役立てられている。

支援地の一つインドの識字教室で学ぶ子どもたち

世界寺子屋運動には、これまでに1億2000万円を超える寄付が集まっており、世界10カ国・21団体の教育環境づくりを支援している。本年からは、非識字率が24%であるカンボジアへの支援が始まっている。



## 第7回(拡大)執行委員会 2010年4月21日

### 【確認事項】

1 当面の日程について

2 連合愛知各種委員会の委員交代について

構成組織の事情により、下記のとおり委員を交代する。

委員会名	構成組織名	新	旧
政策委員会	愛教組	高畑泰志	大杉周三
総務委員会	"	村上正輝	佐藤英樹
中小・雇用労働委員会	自動車総連	武内 陽	小山貴弘
男女平等参画推進委員会	愛教組	松永典子	安藤里美
女性委員会	"	"	"
青年委員会	"	土本秀和	鬼頭 聡
"	サービス・流通連合	津田陽介	河合利彦
"	都市交	原 辰夫	片桐隆司

3 退任役員への功労記念品の贈呈について

4 常任執行委員代理者の交代について

構成組織の事情により、以下のとおり代理者の交代を行う。

構成組織	新	旧
愛教組	川西せつ子	寺本 豊子

5 連合愛知2010年度会計中間決算報告ならびに会計監査報告

6 愛知労協第42回通常総会の代議員要請について

7 構成組織の組織拡大について

8.4月の全国一斉労働相談の実施に伴う連合愛知対応について

9 2010年度「組織拡大強化月間」の取り組みについて

期 間:2010年5月1日(土)~6月15日(火)

〔組織拡大局の補完活動〕

(1)「組織拡大セミナー」の開催

日 時:2010年6月14日(月)15:00~17:00

場 所:ワークライフプラザれある 6階 大会議室

(2)「非正規労働者の組織化に関する情報交換会」の開催

日 時:2010年6月10日(木)15:00~17:00

場 所:ワークライフプラザれある 3階 第2会議室

10 地方アドバイザーの継続配置について

11 2010年度地協事務局長の取り扱い一部改正について

12 インターンシップ研修の受け入れ実施について

期 間:2010年8月23日(月)~9月3日(金)

13 「2010ふれあいフェスティバル」の開催について

日 時:2010年7月30日(金)19:00~21:15

場 所:ホテルグランコート名古屋

14 第11回「地域政策推進フォーラム」の開催について

日 時:2010年6月8日(火)13:30~9日(水)11:30

場 所:全トヨタ労連研修センター「つどの丘」

15 第80回愛知県中央メーデースローガン・集会アピール(案)について

### 【議 事】

1 非専従役員交代について

構成組織の事情により、以下のとおり交代を行う。



松永副会長

副会長の交代

構成組織	新	旧
愛教組	松永 典子	安藤 里美

執行委員の交代

構成組織	新	旧
愛教組	川西せつ子	寺本 豊子
自治労	森田 里美	水野 ゆり

2 各種審議会・委員会等への派遣について

3 諸規則の一部改定(案)について

4 第22回参議院議員選挙の対応方針について

変わらぬ「安心」を、お届けするために。

こくおん共済	C総合労働共済	中労共済
勤労共済	関西労共済	協同共済
マイカー共済	労働共済	産業共済
労務共済	セコ共済	産別共済

本会では、安くて良質な保険の提供として、保障のこころを全労済の理念に基き、組合員の皆様の安心と幸福に貢献することを旨としています。お申込みをお待ちしております。

**責任品質。**

保障のこころを全労済

あなたの職場で働くすべての人と家族のこころの相談室

# 心の相談室

電話相談 052(618)7831

専用電話 月/15:00~19:00 水/12:00~19:00 金/16:00~20:00 ※祝祭日を除く。相談料は無料ですが、電話料は相談者負担となります。  
面接相談 場所/(社)日本産業カウンセラー協会中部支部 ※事前の予約が必要です(1回の面接時間は1時間以内)。2回目までの相談は無料で、3回目以降は1回当たり1,000円を相談者に負担して頂きます。

# 地域から情報発信！

## 第81回尾張西地域メーデーを開催

**犬**山祭と同日となる2010年4月4日(日)、犬山市の名古屋証券総合グラウンド・野球場にて尾張西



尾張西地域メーデーでのひとコマ

地域メーデーを開催しました。一般的にメーデーは5月1日ですが、より多くの方々に連合の勤労者の祭典である「メーデー」を知っていただきたいと思



式典であいさつをする田原代表

い、犬山祭と同日に開催をしました。当日は天候にも恵まれ1,550名の参加者と近隣住民の皆さんにもお越しいただくことができました。

来年もより多くの皆さんにお越しいただけるメーデーとなるよう、内容を検討して開催していきます。

## 感謝状をいただきました

**毎**年、尾張西地協では、年末助け合い街頭カンパ活動を3カ所のスーパー出入口前で行っています。昨年集まった募金は、一宮市社会福祉協議会を通して地域の困っている方々のために役立てられています。

その実績を評価され一宮市社会福祉協議会より感謝状をいただきました。これも皆様の温かい気持ちのおかげと思っています。ご協力、本当にありがとうございました。

感謝状です！



寄与式参加者

## 地域密着をめざす地協に！

尾張西地協は、一宮市、江南市、岩倉市、犬山市、扶桑町、大口町(4市2町)に所在する98組合、およそ17,000人の組合員で構成されています。事務所は全労済一宮会館の3Fにあります。尾張西地協はモノづくり産業(繊維・自動車・機械金属)に携わる組織が多い地協ですが、業種問わず交流をもち「ほう・れん・そう」を欠かさない地協をめざしております。

また、地域に密着した地協活動をめざして、「安心ネットワーク尾張西地域センター」を開設しています。引き続き皆様からのご指導よろしくお願いたします。

